## 開校50周年 碧山小学校

校長　小林　克彦

本校は、昭和38年に開校しました。当初はまだ校舎が建築中で、1学期間、学区域の3校に分かれて勉強しました。そのため学校への送り迎えのバスが走っていたそうです。

記念式典の昨年11月22日に向けて、校内では50年間の歴史を紹介する写真パネルや年表を掲示したり、図工作品のバースデーケーキを展示したりするなど、お祝いの雰囲気を盛り上げました。

11月19日に児童集会がありました。式典に参加できない学年も、演奏や踊りなどを披露し、学校の50歳を祝いました。

また同じ日に、PTAからのお祝いとして、「米村でんじろうサイエンスプロダクション」理科実験ショーが開かれました。巨大空気砲から発射された空気の動きに驚いたり、大きな風船に触れて空気の重さを実感したりと、忘れられない時間を過ごしました。

実験ショー

記念式典当日は吹奏楽の演奏で華やかに始まり、多くの来賓の方々からの祝辞を頂きました。また、全校児童の代表として参加した6年生は、校歴を調べて呼びかけとスライドで発表しました。

地域と共に歩んできた碧山小の50年、これからも地域と共に発展していきたいと思います。

平成26年度

## 小・中学校に特別支援学級を新設します

教育委員会では、適切な学級規模や通学区域を考え、より充実した学校生活の実現を目指して、小学校・中学校にそれぞれ特別支援学級を新設します。

【小学校】

現在、田無小学校、中原小学校、東小学校（知的障害学級のみ）に設置されている特別支援学級（固定制）に加えて、東小学校に自閉症・情緒障害学級を、柳沢小学校に知的障害学級、自閉症・情緒障害学級を開設します。

【中学校】

現在、保谷中学校、田無第一中学校に設置されている特別支援学級（固定制）に加えて、新たに青嵐中学校に知的障害学級、自閉症・情緒障害学級を開設します。

学級の施設整備及び教育活動について、平成26年4月開設に向けて準備を進めています。

◇問合せ◇

○開設全般に関すること
教育企画課
042（438）4071

○教育課程・指導に関すること
教育指導課
042（438）4075

○特別支援教育に関すること
教育支援課
042（438）4074

**気づきと相談が支援のスタートです**

特別支援学級や通級指導学級についての相談は、学校または、教育支援課相談窓口へご相談ください。

◇相談窓口◇

就学相談
042（438）4076

臨床心理士による教育相談
042（425）4972

◆教育支援課
042（438）4074

## 統合協議会を設置しました

～平成27年度の住吉小学校と泉小学校の統廃合に向けて～

教育委員会では、小規模化が進行している住吉小学校・泉小学校・保谷小学校・本町小学校の統廃合について検討してきました。

昨年11月に「西東京市学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成24・25年度における小規模校4校の統廃合に関する検討経過最終報告書」を作成し、「小規模小学校4校（住吉小学校、泉小学校、保谷小学校及び本町小学校）の適正規模・適正配置に関する基本方針」を同月の教育委員会定例会で決定しました。

基本方針は次のとおりです。

**①「住吉小学校」と「泉小学校」を統廃合する。閉校とする学校は「泉小学校」とする。**

**②統廃合実施時に「泉小学校」に就学している児童の指定校は「住吉小学校」とする。**

**③統廃合実施年度は「平成27年度」とする。**

**④②の特例として、通学区域が隣接する「保谷小学校」又は「谷戸第二小学校」を選択できることとする。**

**⑤平成27年度以後の通学区域については、統合前の泉小学校の通学区域のうち、北東地域を「住吉小学校」、南東地域を「保谷小学校」、西地域を「谷戸第二小学校」の通学区域とすることを概ねの方針とする。**

この基本方針を基に1月に統合協議会を設置しました。関係する小学校の保護者などで構成しており、現在は統廃合を実施する平成27年度からの通学区域に関することについて検討を行っています。

今後も、市と教育委員会では、統廃合の実施に向けて、関係する皆さまの負担が最小限となるよう取り組んでまいります。

◆教育企画課
042（438）4070

東京文化財ウィーク2013 特別企画シンポジウムを開催しました

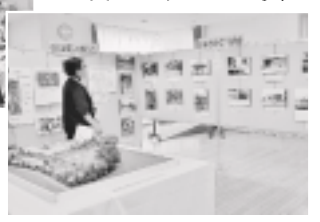
## 幻の民族学博物館

～渋沢敬三・高橋文太郎・今和次郎・宮本馨太郎の夢の軌跡～

昨年11月10日、コール田無において、かつて保谷にあった「民族学博物館」に関するシンポジウムを開催しました。市内にとどまらず、遠くは岩手県からも応募があり、当日は150人を超える方々が講演会場を埋め、熱心に耳を傾けていました。

会場では、市民作成の「民族学博物館想定ジオラマ」や「武蔵野民家の模型」、「写真パネル」などが展示され、精緻に作られたジオラマと模型、貴重な写真や資料の数々は、専門家の方々からも称賛を受けました。

↑講演会場



展示会場→

今回のシンポジウムの目的は、市民と行政が協働で企画を立案・運営し、西東京市にかつてあった貴重な財産ともいえる博物館と、それに関わった4人の夢を広く知っていただくと同時に、その夢を未来に繋げる方法を模索することにありました。

講演された先生方からも熱烈な応援メッセージをいただき、会場は熱気に包まれていました。

◆社会教育課
042（438）4079

## 成人式が行われました！

1月13日(祝)、保谷こもれびホールにおいて、平成26年西東京市成人式が行われました。

当日は、晴天にも恵まれ、第1回624人、第2回596人、計1220人の新成人の方が出席されました。

式典では、市立中学校の生徒たちによる和太鼓や吹奏楽の演奏、恩師からのお祝いメッセージビデオ上映、新成人の代表の挨拶などがあり、会場は終始、和やかな雰囲気に包まれていました。

また、会場周辺では久しぶりの旧友との再会により、笑顔あふれる新成人の方の姿が多数見受けられました。

喜びにわく新成人

今後は、大人になったことを自覚され、社会の一員として責任のある行動をされることを期待したいと思います。

◆社会教育課
042（438）4079

シリーズ 西東京市文化財

## 小金井（こがねい）（サクラ）

（国指定文化財）

西東京市新町五丁目・六丁目を含む、小平市小川水衛所跡から武蔵野市境橋までの約6kmが、大正13（1924）年に国の名勝として指定されました。地域住民のサクラの保護活動の尽力と旧帝国大学教授の三好学博士の研究成果によって、国指定となりました。三好博士は、サクラやショウブを専門に研究し、日本の植物学の礎を築いただけでなく、植物などの「天然記念物」の保護に功績を残しました。

小金井サクラは、江戸時代中期、元文2（1737）年に江戸町奉行大岡越前守忠相の命令により、武蔵野新田開発にともなって、新田開発の世話役であった川崎平右衛門定孝が、ヤマザクラの苗を玉川上水の堤に植え桜並木としたものと伝えられます。江戸時代は、桜の名勝として知られ、寛政9（1797）年には、武蔵野八景にも選ばれ、錦絵の歌川（安藤）広重や葛飾北斎の作品にもとりあげられました。江戸時代後期の嘉永年間には、田無村名主であった下田半兵衛によって大規模な補植が行われました。

昭和40年代になって、玉川上水の通水が停止となり、周辺の都市化によって当時の面影は失われつつありますが、現在でも、地域住民の「桜を守る会」の努力などによって大切に守られています。

撮影：寺口　渉氏

文化財保護審議会委員　都築恵美子

◆社会教育課
042（438）4079

## 教育委員会報告

**【第10回定例会・10月22日】**

〈承認〉

○西東京市教育委員会の職員の人事についての専決処分について

○報告事案　3件

**【第11回定例会・11月26日】**

〈可決〉

○小規模小学校4校（住吉小学校、泉小学校、保谷小学校及び本町小学校）の適正規模・適正配置に関する基本方針

○中原小学校・ひばりが丘中学校の学校施設建替えに関する基本方針

○西東京市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

○報告事案　2件

**【第12回定例会・12月17日】**

〈可決・承認〉

○西東京市立学校設置条例の一部を改正する条例（申出）

○西東京市教育委員会の職員の人事についての専決処分について

〈協議事項〉

○公文書の不開示の決定処分に係る異議申立てに対する決定について

◆教育企画課
042（438）4070

毎月開催される教育委員会定例会を傍聴することができます。日時・会場については、広報西東京・市ホームページでお知らせしています。